日野原重明塾「新老人の会」大分　会報
New Elderly Oita NEO ネオ　第60号

創刊No.8号
2020年6月20日
日野原重明塾
「新老人の会」大分
世話人代表　高田三千尋

日野原重明塾2020年度総会

日野原重明塾「新老人の会」大分2回目の総会を迎えることになりました。

目出度いことでもあり、感銘深い総会でもあります。

会員として嬉しいことであり、力強い発進の挨拶をせねばならない所ですが、昨年師走に始まった新型コロナ感染症(COVID-19)の思いも掛けない凄まじい蔓延。そして国家組織まで破壊するような患者、死者の数。また世界の経済が停止したかのような有様に、幾百万年もの歴史を誇るさしもの人類も滅亡の始まりではないかとさえ危惧されます。

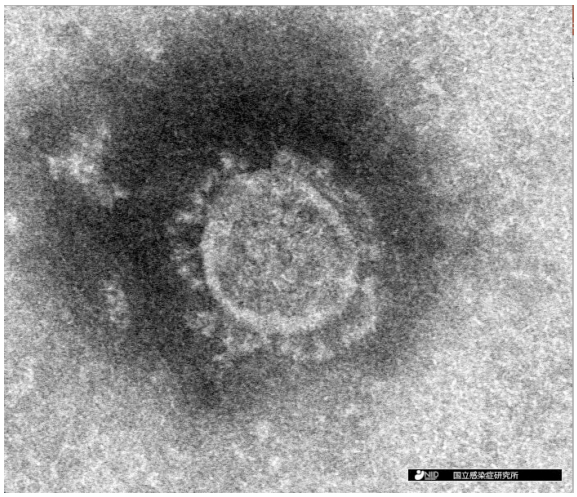
COVID-19対策のための3つの密のために集会はおろか連絡会議も開催が困難という有様では中々に身動きが出来ません。せめて文書による情報交換を密にして興隆発展を目指したいと考えております。その一つとして此の4月より新しくお届けするようになった日野原重明塾事務局だよりがあります。

事務局だよりは私どもが敬愛する日野原重明先生をより深く理解することで、先生が私たちに託されたミッションを正しく理解して、後世に伝え、世界に平和をもたらす道筋を探るための指針にしたいと考えたからです。

事務局だよりは毎月の発行です。会報ネオは従来通り2ヶ月に一回の発行です。

COVID-19は世界に計り知れないほどの大きな困難をもたらしましたが、考え方によっては世界が一つにまとまる唯一の機会ではないかと思われます。災いを幸に変えることが出来るチャンスかも知れないという思いがあります。

細やかでも力を併せることが出来れば世界を変えることも出来ましょう。皆さん夢は大きく持ちましょう。日野原重明先生は天空に夢を描こうと仰いました、夢を描こうではありませんか。



新型コロナウイルス
COVID-19
国立感染症研究所

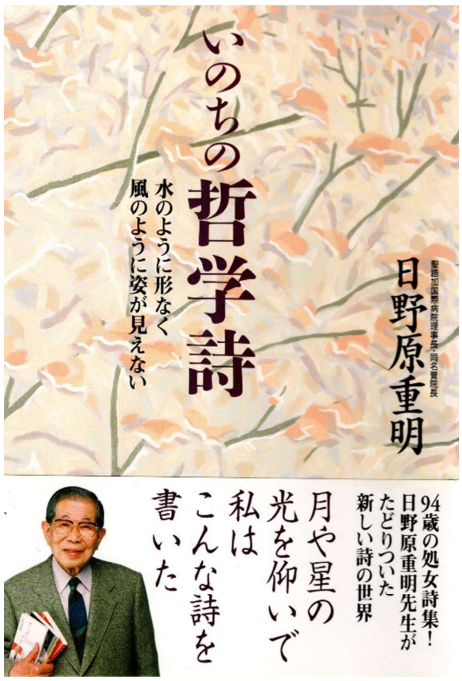
2019年度に開催した行事

2019年4月20日：例会；3月31日西大分の文化会場ブリック・ブロックで行われた日野原重明塾設立記念コンサートの報告。
マレーシアのマハティール前首相とも親交のある歌手山口葵さんをお呼びしてのコンサート「平和と命」でしたが、会場溢れんばかりの御来場の皆さんに平和のメッセージを送ることが出来ました。
6月2日：2019大分交響楽団ファミリーコンサート
6月15日：例会；2019年度の報告と講演「大日本帝国戦争の歴史」絶えて総括されることの無かったこの国の戦争の総括です。
8月11日：日野原重明塾「新老人の会」大分フォーラム2019開催。
フォーラムでは日野原重明先生に激賞して頂いた群読・音楽・舞踏で綴るドキュメンタリー「対馬丸からのメッセージ／命」を音の泉ホールで再演。感銘深いフォーラムになりました。
8月31日：例会；公演「語り継ぐ戦争／1944年カウラ収容所日本兵暴動事件」歴史の表に出ない戦争の無惨さを知ることが出来ました。
9月21日：リレー・フォー・ライフジャパン大分開催。
9月29日：特別例会；大分大学名誉教授加藤征治先生をお招きして特別公演「リンパ」って何？～むくみ（浮腫）や「がん」の転移との関係～を開催。最新の学問であるリンパについて分かり易くお話し頂き、会員にとって得がたい知識を得ることが出来ました。
10月13日：琵琶湖湖畔の「湖邸滋びわこクラブ」で行われた日野原重明記念新老人「滋賀の会」主催の日野原重明メモリアルホール公開記念講演会に出席。
10月26日：宇佐・スッポン料理と映画「この世界の片隅に」鑑賞のバス旅行。
美味しい料理を頂いて感銘深い映画鑑賞。
12月1日：クリスマス例会；例会後は大分出身の講談師・一龍斎貞弥さんの講談独演会「講談で聴く感動の忠臣蔵外伝・忠僕直助」忘れかけた日本の人々の心を思い出すことが出来ました。
2020年2月15日：例会；阿南幸子会員の卓話「聖ルカ看護を学ぶ」多職種参加グループ診療の始まりを知ることが出来たのは嬉しい事でした。
2020年になって、新型コロナウイルス感染症の世界全体に拡がってしまった凄まじい蔓延のため、纏まった集会の開催が出来なくなり、企画した行事は全て延期か中止になってしまい情報の伝達は文書かAIの利用しかなく自由な情報交換が難しくなりました。

遺志を継いで

日野原重明先生の著書に『いのちの哲学詩／水のように形なく　風のように姿が見えない』があります。発行されたのが2005年、先生が94歳の時です。

水の流れは時の流れか　あるいは季節の流れか　はたまた見る人の心の流れなのか
私たちの心を　愛する人の心に　慈しむ人の心に
水のように　音なく合わせられれば
それを至福と私は呼びたい



珠玉の詩集で印象に残っている一節ですが、先生がご生前に果たそうとなさったミッションの原点ではないかと思っています。そして同様の精神と感性と志を感じさせてくださったのが中村哲医師と宮城まり子さんです。お二人の生き方は正に偉業というべきものではないでしょうか。ご自分の生涯の時間をすべて人のためにお使いになったと思います。

日野原先生は「いのちとは自分に与えられた時間であり、その時間を人のために捧げてこそ生きる意義がある」と常にお話しなさっていました。そしてご自身105歳で天に召されるまで人のためにお力を注いでおられました。中村医師も宮城さんも困窮する人々にずっと寄り添い、施し、輝く笑顔と光と希望の道標を築かれました。

私たちは微力でも、このような素晴らしい方々の遺志を継いで平和推進に役立つ活動を続けてゆく所存でございます。新型コロナウイルスの状況がどのように推移するかわかりませんが、これからの会の企画の一つにご紹介させて頂いた中村哲医師と宮城まり子さんのドキュメンタリー上映会を予定しています。企画が実現し、一人でも多くの方々にご覧頂ければ幸いです。

日野原重明塾「新老人の会」大分へのご理解とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

故・中村 哲　医師
「アフガニスタンWARではなくWATERを」

日野原重明先生渾身の一冊

105歳どうしても遺したかった言葉
生きていくあなたへ

この本は2016年12月29日から2017年１月31日まで、先生のご自宅でおこなわれ、「対話の1冊にしたい」という先生のご希望から質問に応えるという対話形式になったものです。

その評価は本の帯にある京都大学iPS細胞研究所所長山中伸弥先生の「すべての人を勇気づける」に尽くされます。

この度新たに文庫本になりました。

会員の皆様にも是非読んで頂きたいと思っています。共同購入では著者割引で購入できる由です。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

2020年主要企画＝「新老人の会」大分10周年記念・平和推進事業
語りと音楽、舞踊で綴る「対馬丸からのメッセージ」沖縄公演

この公演に関しては開催時期を検討中です。決定次第ご連絡いたします。

編集後記

日野原重明塾2020年度総会号をお届けします。

新しい組織になって2回目の総会ということで力がこもるのですが、この時期COVID-19の影響の大きさを改めて感じます。

将に手強い敵を迎えての第三次世界大戦とも言えましょう。先の第二次世界大戦では勝者と敗者がありました。しかし今回は人類が勝つか負けるかの世界戦争です。負ければ人類は滅亡。これまで幾百万年の歴史を誇ってきた輝かしい歴史が消滅することになります。

世界が一つになってこの外敵と戦わねばならない時です。自国の利益を優先して内輪揉めしている時ではありません。世界の何処かの一角が崩れたら留めることは不可能でしょう。人類滅亡の始まりになりましょう。

これ迄幾多の難関をクリアしてきた素晴らしい人類。裸になってでもこの戦いに勝たねばなりません。

日野原重明先生はある出来事に遭遇した時、新しい運命が始まると諭されました。世界が一つになる唯一の機会がやってきたと執るべきではないでしょうか。世界が一つになる新しい運命が始まることを心から願っています。日野原先生のミッションを実行する最大のチャンスでもあります。私たちもミッションを実行するために英知を絞ろうではありませんか。